

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	防災キャンプに行こう！！
事業主体 (連絡先)	朝日村 0263-99-4101
事業区分	(4) 安全・安心な地域づくりに関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	669,600円 (うち支援金: 483,000円)

事業内容

毎年、村では地震総合防災訓練を実施していますが、参加する人は地区の役員等が大半を占めている状況です。松本地域は今後の地震発生確率も高いことから、地震に対する備えが必要です。

「防災訓練」といった固いイメージから、朝日村のキャンプ場を会場に、親子で楽しみながら学び、非常食も種類が豊富なことから試食をして、災害に適したものをみんなで考えます。

避難所体験では、発泡スチロールマットやトイレを見たり触れたりして、保温効果や軽さを体験します。

参加者に意見を出していただき、今後の防災用品の充実に図るうえで参考にしていきます。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

当日は台風の影響で、防災キャンプらしく雨風、寒さからも身を守る経験もしました。非常食はドライカレーやエビピラフ等メニューを選ぶことができ、親子で食べ比べをして楽しみながらの体験もできました。

講師は、村の防災関連業者が行い、参加者への周知地域の活性化を図りました。

参加した家族からは、思ったよりも非常食が美味しく驚いた。食べることは考えるが、出す方も大事で非常用トイレの準備と、非常持ち出し品が改めて必要だと感想がありました。参加者計60名

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

村ではこれまで避難所を開設したことがなく、避難所に必要な備品を充実させ、非常食も定期的な入れ替えで内容の見直しを図っていきます。

今後の防災訓練では、避難所開設から避難所用のマット、スペース確保の資機材等を使った避難所運営等を行い、マニュアルの整備を行っていきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【非常食の調理体験】

【目標・ねらい】

- ① 防災訓練の参加者増
- ② 防災に対する意識の向上
- ③ 防災用品の充実

※自己評価【C】

【理由】自然相手の防災キャンプであったため、台風による影響で参加者のキャンセルがあり、荒天でも可能なメニューを用意する必要がありました。